

APPLE FILM CO.,LTD.

IoTソリューション「AI Camera Analysis」で業務を可視化！
生産状況を24時間把握、夜間のトラブルも迅速に対応可能に。



24時間体制で製造。夜間の稼働状況のレポートが翌朝であり、生産数減などの原因把握が難しいという課題がありました。そこでKDDIタイランドのIoTソリューションを導入する運びに。AI分析で機械の稼働状況を24時間体制で監視することが出来、稼働監視のデータをクラウドダッシュボードでリアルタイムに把握することで生産性を大幅に向上しました。

会社名 APPLE FILM CO.,LTD.
操業 1990年
業種 製造業
従業員 270名
掲載日 2022年11月

企業について

アップルフィルム は稲畑産業グループの製造部門の会社。
製造品目はプラスチック製のごみ袋、レジ袋、規格袋と呼ばれる汎用の袋を中心に製造、ほぼ100%近く日本向けに販売しています。
日本の日系大手スーパーの商品を中心に、他には通信販売の会社、その他メーカー様向けに製造販売しています。



Managing Director
香月 武将 氏
(TAKEMASA KATSUKI)

導入前の課題を

夜間の稼働状況を確認することができない

夜間の稼働状況を現場で見ることができない。翌日の11時くらいに夜間のデータが上がってくる仕組みになっていたが、詳細ではないため把握しきれない。

生産数が一致しない場合、原因の特定が困難

レポート上で想定している稼働数、生産数量よりも少ない場合、何が原因で少なかったのか中々把握できていなかったのが実態だった。

夜間のトラブルが発生した際、復旧対応が翌朝になってしまう。

夜間の場合はメンテナンスメンバーも限られている。対処できない場合はそのまま触らずに翌朝に対応する方法を取っていた。

KDDIが解決

IPカメラを使って機械の稼働を確認、一台のカメラで複数台の設備が監視可能に。

生産数量が明確な数字で確認ができる。いわゆる「見える化」が実現できた。

機械が止まっている時間、ダウンタイムが短くなり生産性の向上に繋がっている。

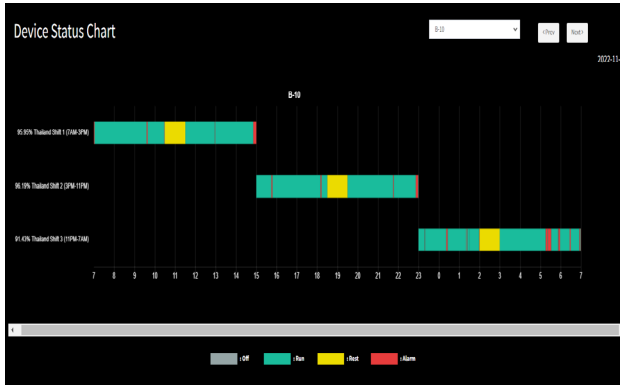
さらに

- 管理者にとって、生産数が数字で可視化が実現出来たため、もっと数字を良くしていこうという姿勢が見られる。
- また、現場に指示を出す際、素直に従わない従業員に数値を見せることで説得することもできた。



導入ソリューションについて

IoT solution 「AI Camera Analysis」



どこからでも



外出先



移動中

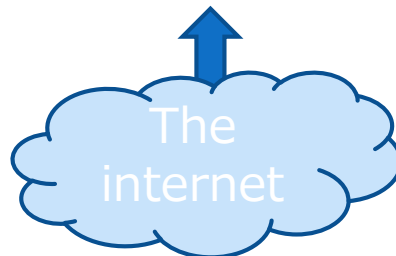


支店

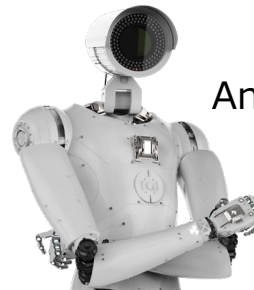


自宅

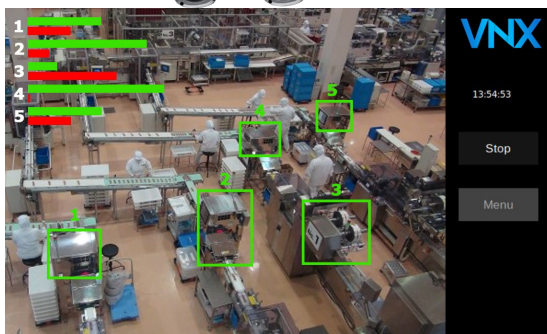
クラウド
ダッシュボード
(オプション)



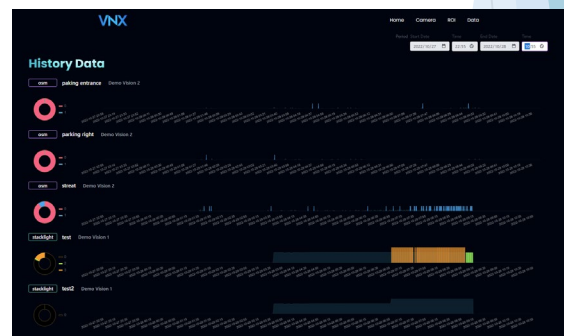
IP カメラ
(設置済み
カメラ流用可)



Analysisサーバ
(判定)



設定画面



ローカルダッシュボード

お問い合わせ先

KDDIタイランド (KDDI THAILAND Ltd.)

Tel: 02-075-8888 ext 0 / E-mail: sales@kddi.co.th (または貴社担当営業まで)

当社ホームページでは他にもさまざまな事例を紹介しています。

KDDI タイ ケーススタディ

検索